



2023年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社テーオーホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 小 笠 原 康 正  
(コード番号：9812 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 常務執行役員 小 笠 原 亨  
TEL 0138-45-3911

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2023年5月決算短信[日本基準] (連結)」において、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは2018年5月期から2021年5月期まで継続的に経常損失を計上しており、有利子負債額が手元流動性に比し高水準な状況にあったため、取引金融機関には継続して支援を要請している状況であることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在していると認識しておりました。

このような状況を解消すべく、当社グループは収益性及び財務体質の改善を図るため各施策を遂行してまいりました。主な取組としては不採算事業について事業譲渡、縮小、撤退を行い事業整理に目途をつけたことにより、2023年5月期において事業撤退損243百万円、減損損失263百万円を計上し、親会社株主に帰属する当期純損失521百万円となりましたが、管理部門を縮小するなどグループ経営体制の見直しによりコスト削減を図り、また、コア事業へ注力することにより事業の生産性が向上し、営業利益202百万円及び経常利益51百万円を計上するなど収益面で改善が図られました。

有利子負債13,776百万円は、依然手元流動性1,142百万円に比して高水準であるものの、メインバンクを中心とした主要取引金融機関からの支援は継続的に得られております。2023年6月にはメインバンクから資金調達を行っており、2024年5月期の資金調達に一定の目途がついている状況であること、今後はテーオーデパート本店の閉店等、不採算事業の撤退によるキャッシュ・フローの改善も見込めることから、資金繰りにおいて重要な懸念がないと判断しております。

従いまして、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないものと判断して、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主の皆様、取引先をはじめとするステーク・ホルダーの皆様には、ご心配おかけしておりますが、今後も一層の企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上